



増戸小だより

Tel 042-596-0240

Fax 042-595-1022

あきる野市立
増戸小学校
No. 3
令和7年5月30日

新体力テストで分かる、子供たちの体力減少

～変わりゆく環境の中でも、心と心を通わせ合う運動を～

校長 時計 祐司

5月、子供たちは「新体力テスト」に取り組みました。この新体力テストでは、筋力や体の柔軟性など、様々な種目から子供たちの体力を測定していきます。その種目の一つ、「ソフトボール投げ」の記録は、体力テスト開始時から残念ながら記録が下降し続けています。その記録が急激に下がったのは1993年。その年の出来事を振り返ると、国内のサッカーリーグ「Jリーグ」が発足し、空前のサッカーブームが始まった頃です。男子の遊びと言えば野球という時代から、子供たちはその年に流行したスポーツ漫画やオリンピックの結果の影響を受け、スポーツの多様化が進みました。ボールを投げるといふ動きも、遊びの中で自然と減っていったのでしょう。しかし、2006年に開催されたWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）初優勝の影響で、再び野球ブームが起きました。それに伴い、ソフトボール投げの記録も若干向上しましたが、長くは続かなかったようです。



▲小峰公園 谷戸田に響く蛙の合唱
令和7年4月24日 撮影

このスポーツの多様化による子供たちの野球離れは、ソフトボール投げの記録の減少に深く関わっていますが、原因はそれだけではないでしょう。その一つが、子供たちを取り巻く環境の変化です。全体の安全を守るため、野球やキャッチボールを禁止する公園や校庭が増えました。また、「子供が生まれたら一緒にキャッチボールをすることが夢。」という時代から、「昔遊んだ名作ゲームと一緒に遊ぶことが夢。」という家庭における子供との関わり方の変化も挙げられます。そもそも家にグローブやボールがなく、親子でキャッチボールをしたという経験が失われつつあることも時代の変化でしょう。

そのような現状の中、増戸小学校の校庭では、子供たちがよくキャッチボールをしています。大谷選手の活躍により、再び野球人気が高まっていますが、本校のソフトボール投げの記録は、残念ながら全国平均値に届いていません。

さて、このキャッチボールですが、単にボールを投げ合うだけで無く、「心と心の会話ができる運動」だと言われています。相手の目を見て、相手が捕球しやすいところへ。時には「どうだ、最近学校、楽しいか。」と会話や雑談を交えながら行えるコミュニケーションツールとしても機能を果たしています。心身共に健康な子供の育成を目指す本校としては、ぜひ、推奨したい遊びの一つです。家庭や地域の皆様で子供たちとキャッチボールを行い、その結果として新体力テストの記録が向上すればもちろん嬉しいのですが、心と心の会話を増やす機会が増えることは、それ以上の成果につながるのではないのでしょうか。もちろん、取り組む運動は、野球だけでなく子供の興味関心の高いものでかまいません。有意義に子供たちと関わる時間を過ごしていきたいものです。